

暮らしに役立つ
情報満載



住まいの ニュース

2023
vol.148 3

今月の
特集

理想の注文住宅を 建てるコツ

理想の住まいを実現できる注文住宅。細部に至るまで自由に設計が可能で、さまざまな要望にも柔軟に対応できるのが魅力です。しかし、どこまでも自由な反面、間取り計画で戸惑う方も多いのではないのでしょうか。

注文住宅は

家事動線の配慮が大切

注文住宅は、自分のライフスタイルや要望に合わせて自由に設計できるのが最大の利点です。大家族向けには広いリビングや寝室を多数備えた間取りを。核家族やDINKS向けには、リビングとダイニング、キッチンを広く取り、寝室を少なくする間取りにするなど、住まう人に合わせた家づくりができるのが魅力です。また、趣味やライフスタイルに合わせてオーダーメイドが可能だということも大きなメリットのひとつです。

いっぽうで、注文住宅を建てる上での注意点もあります。注文住宅は自由な間取りができるゆえ、デザイン性を重視しすぎると、使いづらい家になってしまう恐れがあります。洗濯をして乾燥、そして衣服をしまうまでの動線や、料理をして食事、食器を洗うまでの移動距離をできるだけ短くするなどの家事がしやすい動線への配慮が大切です。

トレンドにとらわれない

間取り計画が重要

また、新しいトレンドを取り入れることで住みづらい家になってしまうケースもあります。例えば、リビング階段はデザイン性が高く、人気がありますが、1階の生活音が2階の寝室まで聞こえてしまうという欠点もあります。また、リビング階段は家族のプライバシーが確保し

にくい間取りだという点も挙げられるでしょう。

空間演出をする上で、大きな窓の設置はおしゃれで、美しい景色を室内で楽しむことができるというメリットがある反面、外から見られるといったプライバシー上の問題が生じる可能性があるため、採用には十分な注意が必要です。スキップフロアも同様に、開放的でおしゃれな空間演出ができる人気の間取りですが、動線に段差が生まれるため、高齢者の介護を視野に入れて間取りを計画する人には不向きで、空間によっては冷暖房が効きにくくなるというデメリットもあります。

このように、トレンドの間取りにはメリットとデメリットの両面があるので、詳細に検討することをお勧めします。特

に、家事動線や使いやすさに焦点を当て、トレンドにとらわれないで計画することが重要です。

注文住宅を建てることは、大きな決断となる人生の一大イベントです。それゆえ、多くの方が間取りに悩む事もありますが、そのときは、ぜひ「FPの家」にお気軽に相談してください。とかく注文住宅と謳っても限られたアイテムから選ぶのが一般的ですが「FPの家」は高い性能を有するうえに非常に自由度の高い真の注文住宅です。理想の住まいのイメージをお伺いし、リビング階段から大きな窓、スキップフロア、棚の造作に至るまで、あなたのご要望にあったデザインをご提案いたします。



住まいの知恵袋

こどもエコすまい支援事業



エネルギー価格高騰の影響を受けやすい子育て世帯・若者夫婦世帯による高い省エネ性能（ZEHレベル）を有する新築住宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して支援することにより、子育て世帯・若者夫婦世帯等による省エネ投資の下支えを行い、2050年のカーボンニュートラルの実現を図る事業。2022年4月1日時点で18歳未満の子どもがいる世帯、もしくは夫婦のいずれかが39歳以下の世帯を対象に、自ら居住することを目的に新たに注文住宅を建築した場合、100万円が補助されます。その要件として、「ZEH」または、2022年10月1日以降に認定申請を行った「認定長期優良住宅」「認定低炭素住宅」「性能向上計画認定住宅」のいずれかであることなどがあげられています。

てきた! 簡単DIY

レイズドベッド



シンプルな庭に花壇にすることができるレイズドベッドのDIYにチャレンジしてみませんか。作り方はカンタンです。まずレイズドベッドの大きさを決め、使用する木材を寸法に合わせてカットし、防腐剤を塗ります。薄い木材は長持ちしないので、厚みのあるものを選びましょう。続いて、レイズドベッドを設置する地面を固めて水平にし、地面に防草シートと砕石を敷きます。その上に練りモルタルを敷いて、レンガを並べて基礎を作ります。次に、角にロングアングル金具を差し込み柱を作り、基礎のレンガの上に木材を置いて金具で固定します。内側には防草シートを貼って腐食対策を行います。最後に、レイズドベッドの底に軽石を入れ、その上に培養土を入れて完成です。

お金の豆知識

登録免許税

不動産の取得や変更などに伴い、不動産登記を行う際に納める税金。税金の額は不動産の価値に応じて決まります。手続きは司法書士などの専門家に依頼することもできますが報酬が発生します。登録免許税は、不動産所有者の負担となりますので、不動産取引に伴う費用の一つとして計画することが重要です。

暮らしの1ポイント



パスポートオンライン申請

2023年3月27日から、パスポートの更新がマイナンバーカードを利用してオンラインで行えるようになります。これまでは窓口へ2回、出向く必要がありましたが、オンライン申請では受取時の1回だけに。対象者は、パスポートの残存有効期間が1年以下、または査証欄が3ページ以下になった場合に限りです。

Dr.住まい

入浴後のひと手間

浴室でのカビの繁殖を抑えるには、浴室から出る直前に熱いシャワーを浴室全体にかけることが効果的です。特に、皮脂や微生物が付着した隅や風通しの悪い場所には、強い勢いでお湯をかけましょう。これにより、カビ菌の大好物である石鹸カスや皮脂が落ち、カビ菌自体も弱ります。ただしシャワーをかける際はヤケドにご注意を。

